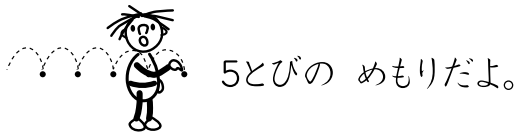


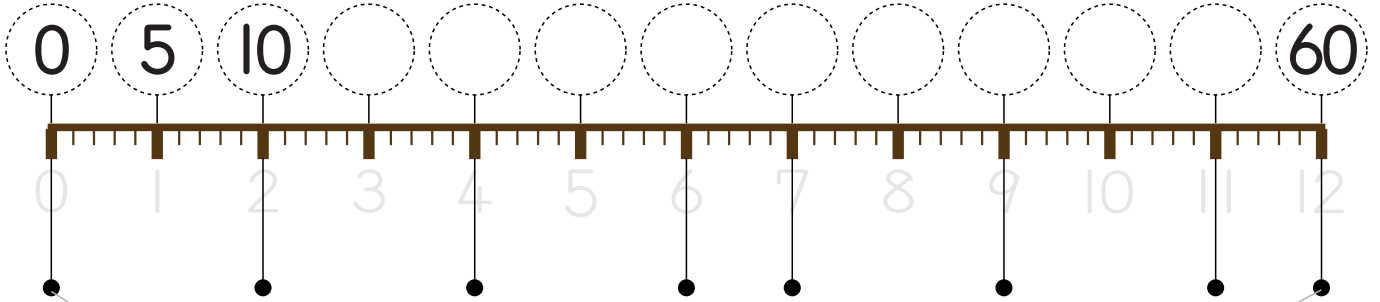
1) 上の直線時計を丸にしたのが下の時計だと教える。
2) 直線時計と円時計の分目盛りの数値を、5とびで円枠に書かせる。「分」の概念に深入りしなくてもよい。
3) 直線時計の目盛りと対応する円時計の目盛りを線でつなぐさせる。60が10に重なることは教える。

a) 時計の分目盛りに「5とび」でなじむ。5とびは十進法の骨格となる表象である。
b) 子どもの時間の概念や感覚は大人のそれと大きく差がある。過度な要求にならないよう注意。

評
Date
Note



5とびの めもりだよ。



まるくしたら、
どれが どれ?

